

3 調査研究

(1) 伊丹学力向上推進プロジェクト

1 事業目的

伊丹市教育の喫緊の課題である児童生徒の学力向上に向け、総合教育センターが主体となり「伊丹学力向上プロジェクト」を組織する。

教育企画課及び学校指導課との連携のもと、本市児童生徒の全国学力・学習状況調査及び伊丹市学習到達度調査の分析結果からこれまでの教育施策の成果と課題を検証し、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等をめざした教育施策を推進する。

2 実施方針

- (1) 伊丹市の教育施策の成果と課題を把握する。
- (2) 全国学力・学習状況調査課題分析ツールの活用を推進する。
- (3) 新たな学力向上施策について研究する。
- (4) 家庭と連携し学習習慣を確立する。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 全国学力・学習状況調査課題分析ツールの平成28年度版を作成した。
- ・ 全国学力・学習状況調査課題分析ツールを有効に活用するための研修会を実施することにより、各学校の学力向上プランの作成や教職員の授業研究等につながった。
- ・ 「家庭学習プリント配信システム」の啓発を小・中学校25校で実施した。

(2) 課題

- ・ 来年度も、各学校が分析ツールを有効に活用できるための研修等を計画的に行う必要がある。
- ・ 分析ツール作成から3年が経過したこと、文部科学省等から有効な分析データが提供されていることから、分析ツールのあり方について検討する必要がある。
- ・ 学力向上推進プロジェクト事業のあり方について検討していく必要がある。

4 実施状況

(1) 全国学力・学習状況調査課題分析ツール研修会

- ・ 10月11日(火) 各小・中学校、教頭や該当学年担当者等を対象に分析ツールの活用方法と分析シートの見方についての研修会を実施した。(参加者43人)
- ・ 各学校において、全国学力・学習状況調査課題分析ツールを活用し、自校の「学力向上プラン」に生かすことができた。

(2) 「家庭学習プリント配信システム」の活用促進

各小・中学校PTAを対象に、家庭学習のへやの啓発活動を行った。(全小・中学校25校)